

### 第3節 活力と希望を生み、交流を育むまち

施策  
通し番号



<b>1</b>	<b>農・工・商業の基盤整備とネットワーク化を促進するまちづくり</b>	
1	農業基盤の整備	35
2	工場誘致の推進	36
3	機能的な商業スペースの確保	37
<b>2</b>	<b>自然と観光事業を一体的に考え、ツーリズムの拠点となるまちづくり</b>	
1	観光の拠点化の推進	38
2	イベントによる観光振興	39
3	観光宣伝及び誘客の企画	40
<b>3</b>	<b>新しい活力を生みだす産業育成と雇用を促進するまちづくり</b>	
1	雇用の促進と安定化	41
2	観光事業と地域産業の連携	42
3	商業の活性化	43
4	新産業の育成・支援	44
<b>4</b>	<b>農村環境を地域間交流に活用し、活力と定住を生むまちづくり</b>	
1	グリーンツーリズムの推進	45
2	地域資源を活かした農林業の振興	46

### 第3節 活力と希望を生み、交流を育むまち

1 農・工・商業の基盤整備とネットワーク化を促進するまちづくり

1 農業基盤の整備

2 工場誘致の推進

3 機能的な商業スペースの確保

#### めざす方向(施策の目的)

農業基盤整備及び農村環境整備を継続的に推進すると共に、特産品の開発やブランド化を進め、後継者育成と農業経営体の強化を図り、他産業との連携を積極的に進め安定した農業経営の基盤を整備する。

#### ■ これまでの取り組み

- ・ほ場の大区画化、用排水施設、幹線・支線農道整備及び大型機械の導入
- ・経営規模の拡大や組織化など担い手への集積を図り生産性の向上に努めてきた

#### ■ 現状

ほ場の大区画化が完了した地区は、生産性の向上と土地の有効利用が図られているが、未整備地区は、同じ平野部でも生産性等に格差がある。

#### ■ 市民の声

事業採択後かなり年数が経過しているが、工事が未着工の地区があり、各事業における工事の早期着工及び完了が望まれる。

#### ■ 課題

- ・各事業の進捗状況の差が生産性への格差に繋がっているため、計画的な事業遂行

## ■ 施策の展開

新たな経営所得安定化対策に対応した農業生産法人や集落営農組織への移行を推進する。

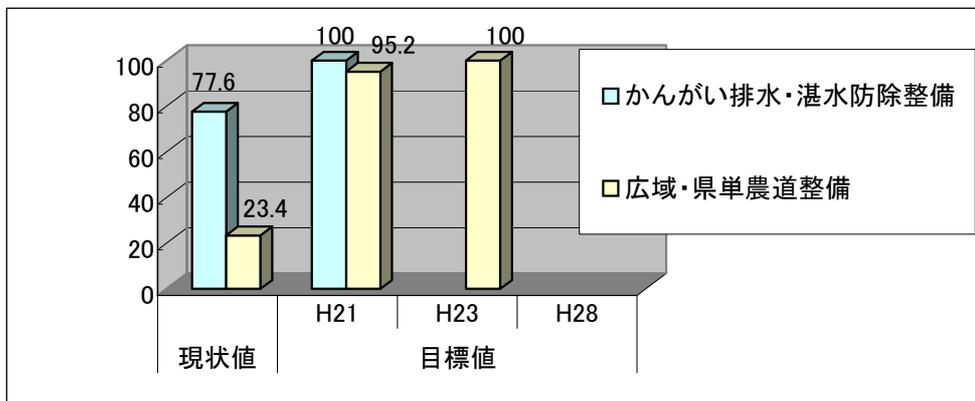
- ・ほ場整備事業
- ・かんがい排水事業
- ・湛水防除事業
- ・広域、県単農道整備
- ・経営体育成基盤整備事業

## 施策に対する目標

指標名	単位	現状値	目標値			指標の説明
			H21	H23	H28	
かんがい排水・湛水防除整備	%	77.6	100.0			農業基盤の整備状況
広域・県単農道整備	%	23.4	95.2	100.0		

## ■ データ

○ 農業基盤の整備状況 (%)



### 第3節 活力と希望を生み、交流を育むまち

- 1 農・工・商業の基盤整備とネットワーク化を促進するまちづくり
  - 1 農業基盤の整備
  - 2 **工場誘致の推進**
  - 3 機能的な商業スペースの確保

#### めざす方向(施策の目的)

新潟中条中核工業団地及び市営工業団地の特長を活かした企業誘致活動を展開し、研究開発型企業を始めとした成長型企業の誘致を推進することにより、活力と希望のあるまちを目指す。そのため、関係機関や地域内企業への訪問による情報収集により誘致活動を展開し、地域産業と経済の活性化を図る。

#### ■ これまでの取り組み

企業誘致促進協議会を発足して誘致活動を行い、新聞広告やホームページ等による宣伝活動、アンケート調査等をもとにした企業訪問を行う。

#### ■ 現状

長引く景気低迷により企業の設備投資が抑えられ、また、コストダウン等を目的とした海外進出などにより企業立地件数は少ない状況にある。また、企業は本社機能等が多い関東周辺の運送コストのかからない土地への立地希望が多い。

#### ■ 市民の声

新規企業の立地及び既存企業の新分野進出により、地域の活性化が図られるとともに雇用機会の拡大と財政基盤の強化が望まれている。

#### ■ 課題

- ・新規立地企業の誘致による活性化
- ・域外企業への新しいアピールポイント(優遇制度等)の確立と更なるインフラの整備
- ・域内企業における技術者の育成及び発掘と確保
- ・市内企業を中心に職業研修及び体験等、産業を活性化させるネットワークの構築

## ■ 施策の展開

### ○企業誘致に関する専門機関の設置

- ・有識者等から組織する誘致委員会の設置
- ・行政が組織する専門機関の設置
- ・専門機関による積極的な活動と情報の収集・集積
- ・活動結果及び集積情報の分析により、新しいセールスポイントの発掘と確立（優遇制度、インフラ整備）

### ○ネットワークづくりの推進

- ・技術者及び雇用の確保を目的として市内企業を中心とした域内企業の人材ネットワークを形成
- ・立地企業への継続的フォローを目的とした支援制度等を確立

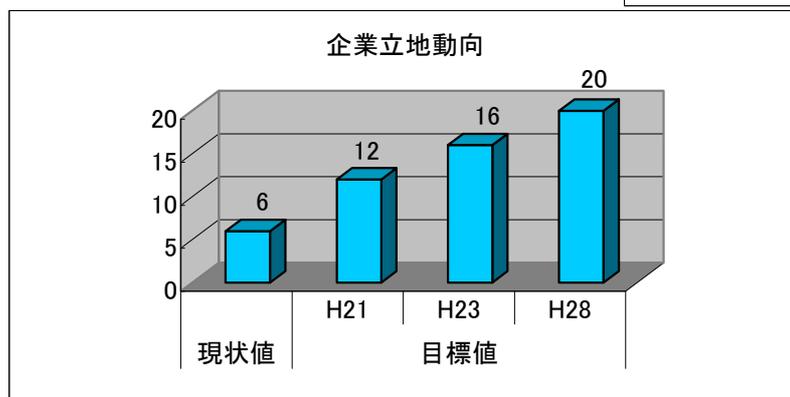
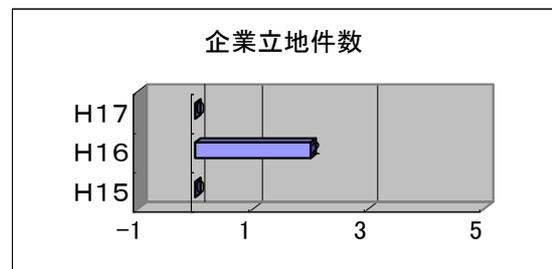
## 施策に対する目標

指標名	単位	現状値	目標値			指標の説明
			H21	H23	H28	
企業立地動向	件	6	12	16	20	1年間に2件程度の立地を目標とする

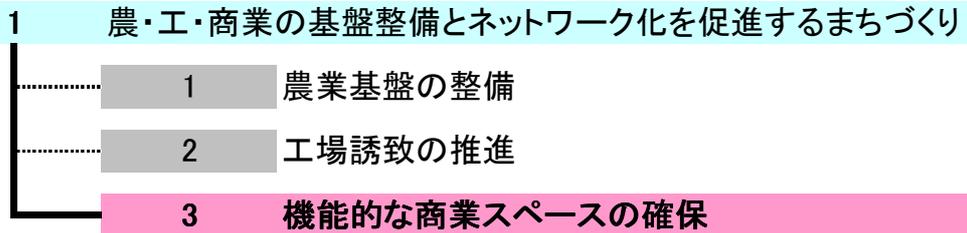
## ■ データ

### ○企業立地動向

	H15	H16	H17
企業立地件数	0	2	0



第3節 活力と希望を生み、交流を育むまち



めざす方向(施策の目的)

活力ある商業ゾーンの形成を目指し、商業地の基盤整備を実施することにより、周回する買い物客の利便性を向上させ、回遊性にあふれ、全ての人にとって楽しく飲食や買物のできる空間整備に努める。また、中心市街地への求心力を高め、市外への購買流出を防ぐ。

■ これまでの取り組み

本町の上町・中町は沿区事業により道路の拡幅等整備された。

■ 現状

本町通りは指定方向外進入禁止を解除し、通行できるようになっているが、道路が狭く路上駐車があり、交通の流れはスムーズとはいえず機能的な商業スペースとなっていない。

■ 市民の声

- ・下町地区の道路拡幅
- ・街路事業の早期着手

■ 課題

- ・国道沿線の大型店と既存の商店街の連携
- ・観光産業と連携した商業スペースの確保

## ■ 施策の展開

・街路整備事業

### 【関連事業】

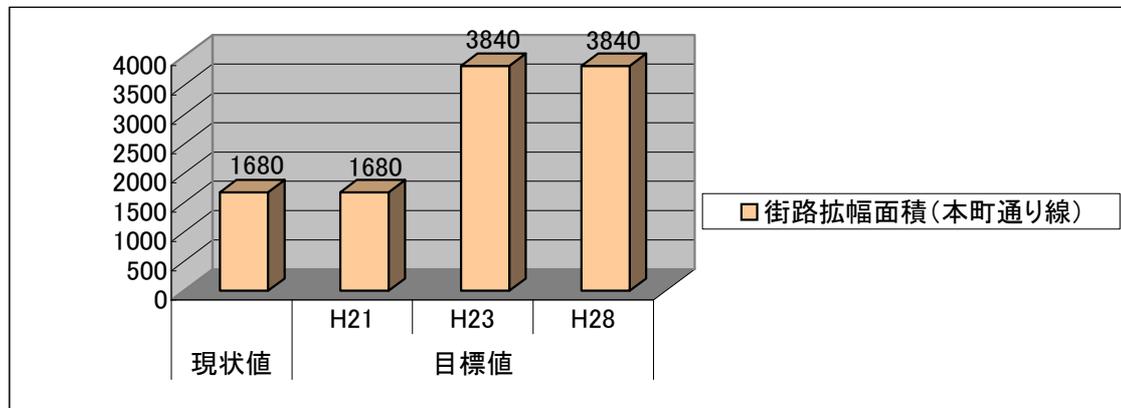
- ・道路整備事業
- ・歩道整備事業
- ・中条駅西口整備事業

## 施策に対する目標

指標名	単位	現状値	目標値			指標の説明
			H21	H23	H28	
街路拡幅面積 (本町通り線)	m <sup>2</sup>	1,680	1,680	3,840	3,840	機能的商業スペースの確保状況

## ■ データ

○街路拡幅面積(本町通り線)



第3節 活力と希望を生み、交流を育むまち

2 自然と観光事業を一体的に考え、ツーリズムの拠点となるまちづくり

1 観光の拠点化の推進

2 イベントによる観光振興

3 観光宣伝及び誘客の企画

めざす方向(施策の目的)

胎内観光ゾーン(胎内スキー場・胎内溪谷等)と白砂青松ゾーン(村松浜海水浴場・長池公園等)の連携を図り、歴史・文化的な遺産を継承し、新たな観光資源の掘り出し、既存の施設の活用と重点的な施設の整備をし、観光協会等各種団体との連携強化、ホームページ・新聞・雑誌・テレビ・ラジオなどあらゆるメディアを活用し、内外への情報発信を行う。更に豊かな自然のなかで広く市民に保養の機会と利便を与え、何度も来たいと思えるような施設整備を進める。

■ これまでの取り組み

- ・就労の場の創出と人口流出歯止め政策の推進
- ・民間資本に頼らない市直営方式
- ・観光開発と施設整備

■ 現状

- ・観光拠点として胎内観光ゾーンと白砂青松ゾーンの連携を図っていく必要がある。
- ・既存施設の有効活用及び内外への情報発信が不足している。
- ・歴史的な遺産と観光を絡めた取組が必要である。

■ 市民の声

- ・観光拠点としてのアピール
- ・観光施設の運営方法の検討

■ 課題

- ・新聞・雑誌の有効活用
- ・集客促進のための観光施設のアピール
- ・観光施設間の連携強化
- ・観光施設の維持管理と整備
- ・伝統的行事、自然資源、歴史的文化遗产を活用した観光ルートの確立

## ■ 施策の展開

○観光客の需要にあった施設の整備・充実

- ・観光施設の維持管理と整備
- ・観光施設関連への交通利便性の向上
- ・観光施設職員の接客マナーの研修と強化

○広域的に連携した観光ルートの開発と地域間交流の促進

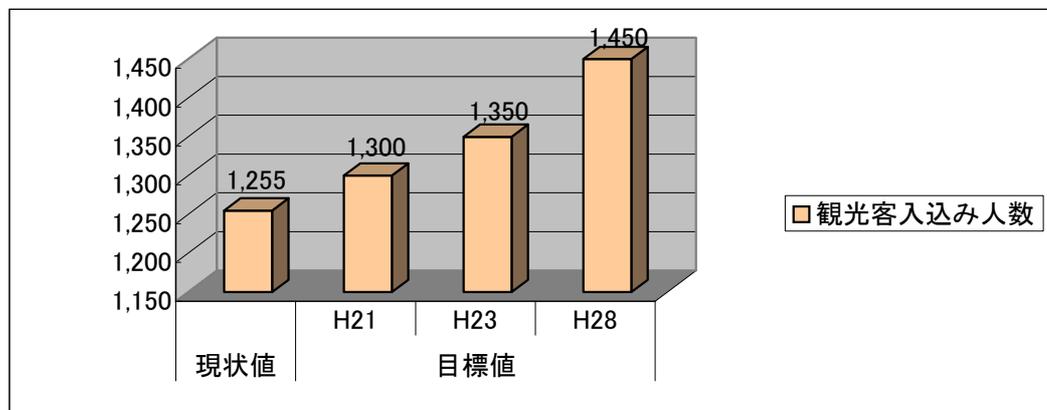
- ・新聞・雑誌への掲載とメディアを活用した情報発信
- ・施設間を利用できる「周遊券」の発行

## 施策に対する目標

指標名	単位	現状値	目標値			指標の説明
			H21	H23	H28	
観光客入込み人数	千人	1,255	1,300	1,350	1,450	観光入込み客数目標

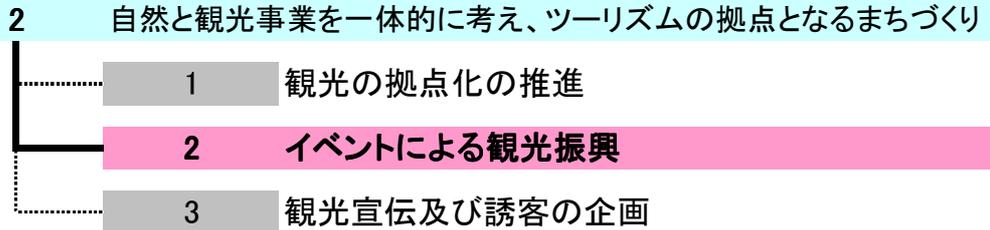
## ■ データ

○観光客入込み状況(千人)



	H15	H16	H17
観光客入込み人数 (千人)	1,259	1,280	1,255

第3節 活力と希望を生み、交流を育むまち



めざす方向(施策の目的)

四季を通じ地域の自然や特産物を活用した独自のイベントを展開することで集客を図る。また、各種シンポジウムなどの会議を積極的に誘致し、宿泊施設の活用とPRを図る。

■ これまでの取り組み

- ・胎内川観光協会との共催による事業
- ・ラジオ、テレビ特別番組の作成
- ・関東圏でのイベント開催

■ 現状

胎内市には、自然、歴史、文化に関する観光資源が多くあり、これらを広域的にPRすることが不足しており、そのよさが知られていない。

■ 市民の声

- ・市民参加型のイベントの開催
- ・自然、歴史、文化を活かした観光振興

■ 課題

- ・各種情報媒体を活用したPRの強化
- ・イベントの見直し

## ■ 施策の展開

○関連施設との連携強化とイベントの見直し

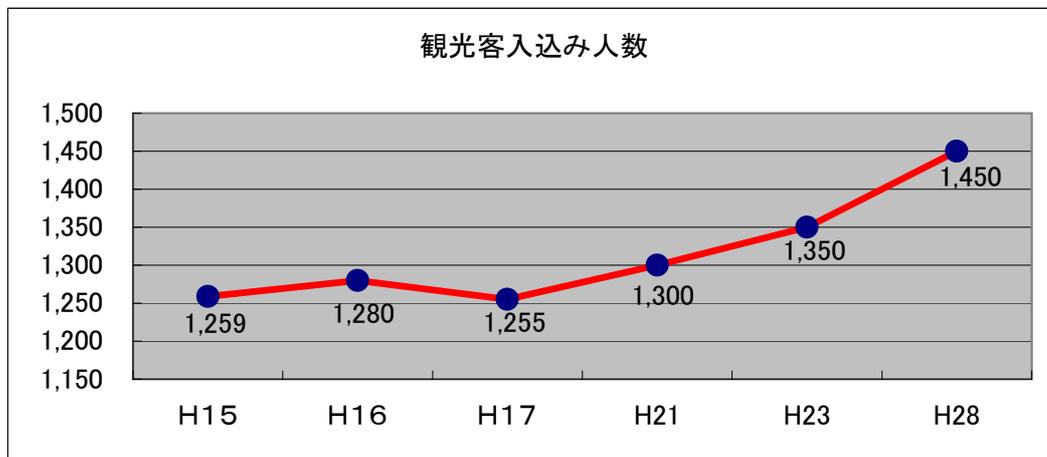
- ・広域的なイベントへの積極的参加
- ・既設イベントの見直し

## 施策に対する目標

指標名	単位	現状値	目標値			指標の説明
			H21	H23	H28	
観光客入込み人数	千人	1,255	1,300	1,350	1,450	観光入込み客数目標

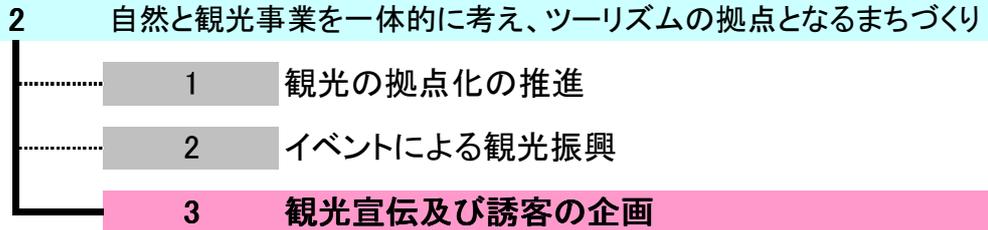
## ■ データ

○観光客入込み状況(千人)



	H15	H16	H17
観光客入込み人数 (千人)	1,259	1,280	1,255

第3節 活力と希望を生み、交流を育むまち



めざす方向(施策の目的)

山・川・海の豊かな自然環境をはじめとする魅力的な観光資源を活かすとともに、新たな観光コースを構築して観光振興を図り、何度も訪れたいまちを目指す。

■ これまでの取り組み

- ・パンフレット及びポスターの作成
- ・県人会との交流と胎内市の宣伝

■ 現状

胎内市の観光資源は、豊かな自然が中心であり、自然、歴史、文化に関する観光資源が数多くありますが、PRの不足により、十分にその良さが知られているとはいえ、来訪者を受け入れる環境整備が必要である。

■ 市民の声

- ・自然や歴史・文化をいかした観光振興
- ・地域のすばらしさを紹介できる環境

■ 課題

- ・各種情報媒体を活用したPRの強化
- ・観光資源のネットワークづくり
- ・観光関連団体や市民との連携の強化

## ■ 施策の展開

### ○観光モデルコースの作成

- ・歴史文化と連携した滞在型、体験型観光の構築
- ・市民参加型の企画作成

### ○観光客誘客のための観光情報の発信

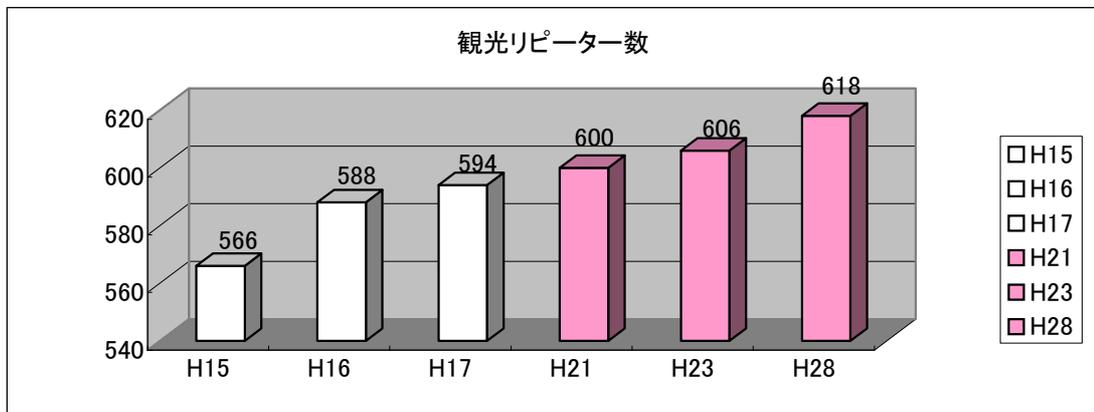
- ・関係団体や市民団体と連携し、宣伝方法や情報提供の仕組みを整備

## 施策に対する目標

指標名	単位	現状値	目標値			指標の説明
			H21	H23	H28	
観光リピーター数	千人	594	600	606	618	来訪者の推移

## ■ データ

### ○観光リピーターの状況(千人)



	H15	H16	H17
観光リピーター数	566	588	594

第3節 活力と希望を生み、交流を育むまち

3 新しい活力を生み出す産業育成と雇用を促進するまちづくり

1 雇用の促進と安定化

2 観光事業と地域産業の連携

3 商業の活性化

4 新産業の育成・支援

めざす方向(施策の目的)

商工業関係者並びに関係機関等と連携し、求人・求職情報の収集及び提供のための体制づくりや各年齢層に対応した相談事業や就業支援の実施により、人材の発掘・育成と就業機会の拡大とともに、雇用を促進し生活の安定化を図り活力あるまちづくりを目指す。

■ これまでの取り組み

ハローワーク、関係機関等からの求人情報や就業支援情報等を庁舎窓口において提供を行ってきた。

■ 現状

関係機関からの情報を窓口において情報を提供しているもので、広く市民に対しての情報提供となっていない。

■ 市民の声

- ・情報が広く提供できていない
- ・パートタイムの情報がない

■ 課題

- ・地域内の商工業者から情報提供を行ってもらうための体制づくり(登録制度)
- ・求職者への就業相談や支援事業の整備
- ・技術者や担い手の発掘と育成支援の強化
- ・情報提供システムの構築

## ■ 施策の展開

### ○情報提供の推進

- ・商工業者等からの求人情報提供システムと求職希望者への情報提供のための体制づくり
- ・ホームページ等での情報発信体制やシステムの構築

### ○人材の育成・発掘

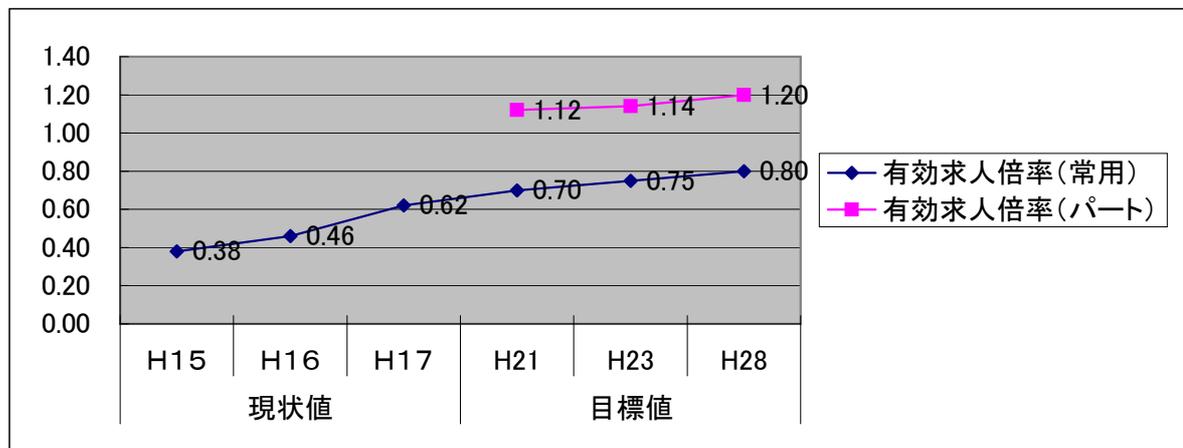
- ・地域における担い手の発掘と育成事業の実施
- ・求職者への就業相談と技術研修等の実施体制の確立

## 施策に対する目標

指標名	単位	現状値	目標値			指標の説明
			H21	H23	H28	
有効求人倍率 (常用)	倍	0.62	0.70	0.75	0.80	雇用の促進状況
有効求人倍率 (パート)	倍	1.10	1.12	1.14	1.20	

## ■ データ

### ○求人倍率の状況



(新発田管内)

	H15	H16	H17
有効求人倍率 (常用)	0.38	0.46	0.62

第3節 活力と希望を生み、交流を育むまち

3 新しい活力を生み出す産業育成と雇用を促進するまちづくり

1 雇用の促進と安定化

2 **観光事業と地域産業の連携**

3 商業の活性化

4 新産業の育成・支援

めざす方向(施策の目的)

豊かな自然環境や地形を活かした観光資源と施設運営による観光事業、そして産業基盤である農業と商工業が連携し、魅力的な観光資源の発掘と支援による胎内ブランド商品の開発等を促進し、地域全体の活性化を目指す。

■ これまでの取り組み

農畜産物及びその加工品に付加価値を付けて地域の特産品として位置づけPRを実施し特産品販売所、民間店舗等において販売してきた。

■ 現状

地域内において消費できる製品と広く市場へ流通させたい製品とあるが、販売経路の確立がなされていないため、販売実績の伸び悩みやPR不足による認知度の低迷が続いている。

■ 市民の声

- ・特産品として付加価値を付けて販売しているものが多く、割高感がある
- ・他の地域と同じようなものが多い
- ・販売を行っている場所がさまざま、購入しにくい

■ 課題

- ・特産品ブランドとしての認知度の向上
- ・地域内及び市場への販売体制の確立
- ・魅力ある特産品、新しい特産品の開発と生産・販売
- ・民間企業との連携

## ■ 施策の展開

### ○地域産業の振興

- ・商品情報の整理
- ・既存産業への支援

### ○生産・販売体制の整備

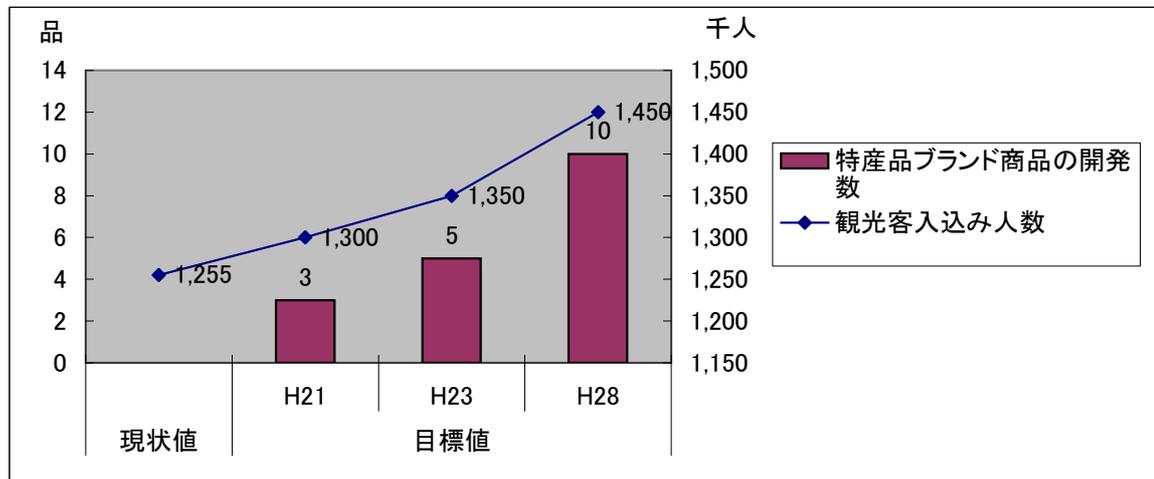
- ・生産者、加工業者、販売店、流通業者等の連携体制整備への支援
- ・生産体制の確立による、魅力ある特産品、新しい特産品の開発とブランド化
- ・販売体制の確立による、地域内及び市場への販売と流通
- ・アンテナショップ等の設置による、地域一体的な情報発信機能の整備
- ・農産物処理加工施設整備事業

## 施策に対する目標

指標名	単位	現状値	目標値			指標の説明
			H21	H23	H28	
特産品ブランド商品の開発数	品	-	3	5	10	新商品開発目標
観光客入込み人数	千人	1,255	1,300	1,350	1,450	観光客入込数目標推移

## ■ データ

### ○観光客とブランド商品の開発状況



### 第3節 活力と希望を生み、交流を育むまち

#### 3 新しい活力を生み出す産業育成と雇用を促進するまちづくり

- 1 雇用の促進と安定化
- 2 観光事業と地域産業の連携
- 3 **商業の活性化**
- 4 新産業の育成・支援

#### めざす方向(施策の目的)

機能的な商業スペースの確保による基盤を整え、地域商店並びに商店街の地域特性を活かした経営手法の活用や、人材育成の支援により商業経営の安定と活力の回復を図り、地域の活性化と商業振興を促進する。

#### ■ これまでの取り組み

古くから親しまれてきた中条市や地域で発展してきた商店や商店街の活性化を図るため、補助金交付や事業への支援を行ってきた。

#### ■ 現状

駐車場が整備され品数の豊富な大型店等が進出し、地域の商店や商店街での購入機会が減少しており、経営が厳しい状況にある。地域の商工業者が参加する商品券発行事業へ補助金を交付し商業の活性化を図っている。

#### ■ 市民の声

- ・商品の品数が少ない
- ・車でいった場合の駐車スペースがない
- ・一つの店舗で必要な買い物ができない

#### ■ 課題

- ・品揃え等に対応した、商業基盤整備による集積
- ・駐車場の確保
- ・経営者及び担い手の育成
- ・地域コミュニティーの場、情報発信の場としての利用

## ■ 施策の展開

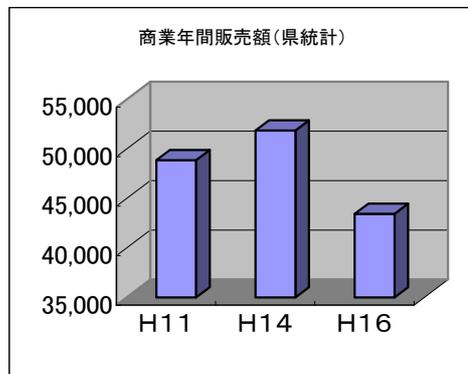
- 商業の活性化
  - ・商業団体と連携した地域商業の振興
  - ・集客イベントの開催
  - ・中条市開催の支援
- 人材育成・支援
  - ・意欲ある経営者への支援
  - ・後継者の育成・支援
- コミュニティ機能の活用
  - ・店舗の有効活用
  - ・情報発信機能の設置

## 施策に対する目標

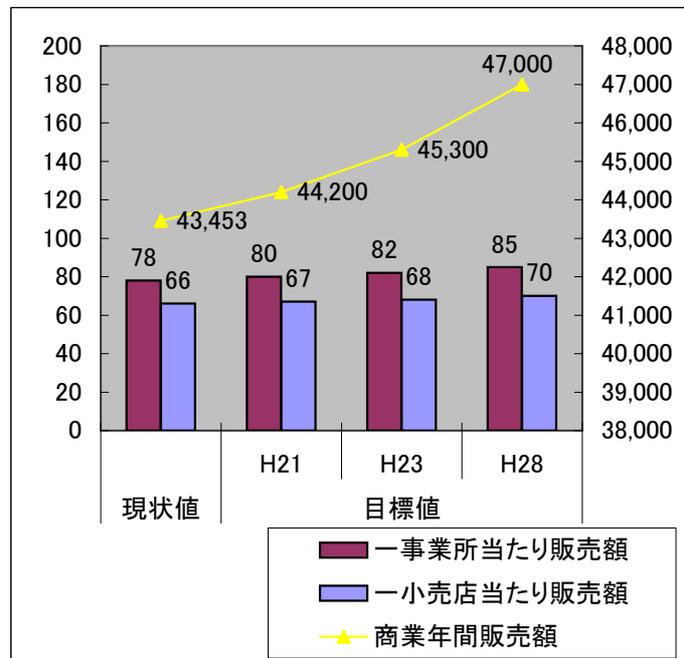
指標名	単位	現状値	目標値			指標の説明
			H21	H23	H28	
商業年間販売額	百万円	43,453	44,200	45,300	47,000	商業の活性化の度合い
一事業所当たり販売額	百万円	78	80	82	85	
一小売店当たり販売額	百万円	66	67	68	70	

## ■ データ

### ○商業年間販売額



(注)平成16年より調査対象が変更されたため販売額が減少



第3節 活力と希望を生み、交流を育むまち

3 新しい活力を生み出す産業育成と雇用を促進するまちづくり

1 雇用の促進と安定化

2 観光事業と地域産業の連携

3 商業の活性化

4 **新産業の育成・支援**

めざす方向(施策の目的)

企業誘致の促進を図る一方、次世代を担う新産業の創業に取り組む起業家や意欲ある経営者はもとより、人材の育成・支援のための制度、事業を産官学の一体的な取り組みで推進することにより、地域産業の育成と雇用機会の拡大を図り、活力あるまちづくりを目指す。

■ これまでの取り組み

中小企業への支援については、関係機関からの情報提供に努めてきた。

■ 現状

企業においては、新しい技術や製品の研究・開発に力をいれ経営の安定に努めていることから、セミナーや研究会の情報、技術相談窓口等の紹介を行ってきたが、十分に紹介しきれていない。

■ 市民の声

- ・新産業の創出・育成のための情報提供や支援策
- ・人材の発掘と育成

■ 課題

- ・情報提供機会の拡大
- ・研究開発型企業の誘致
- ・大学、研究開発型企业との連携体制づくり

## ■ 施策の展開

### ○中小企業振興の推進

- ・新産業創出のための情報提供
- ・企業の産業分類別情報の集積
- ・地域的な産業振興の取り組み体制づくり

### ○新産業の研究・開発

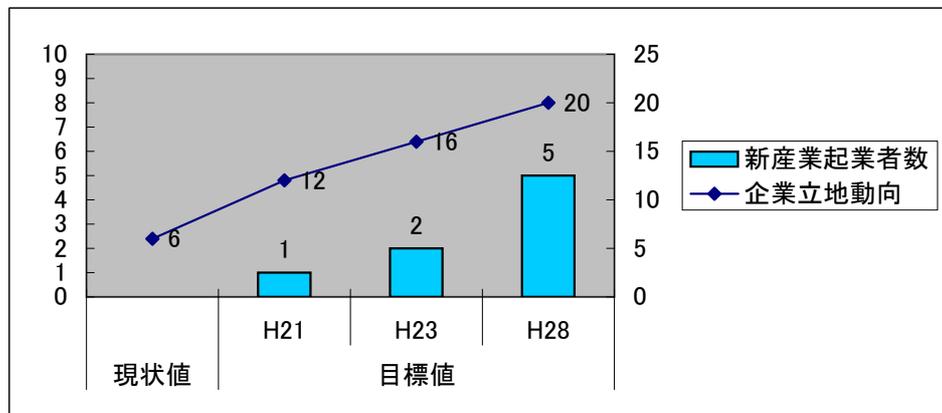
- ・起業家の発掘・支援
- ・研究開発型企業の誘致促進と研究・開発機関との連携
- ・事業化への支援

## 施策に対する目標

指標名	単位	現状値	目標値			指標の説明
			H21	H23	H28	
新産業起業者数	件	-	1	2	5	2年に1件程度を目標とする

## ■ データ

### ○新産業起業者数と企業立地動向



### ○企業誘致目標(企業誘致の推進施策より)

	現状値	H21	H23	H28
企業立地動向	6	12	16	20

### 第3節 活力と希望を生み、交流を育むまち

4 農村環境を地域間交流に活用し、活力と定住を生むまちづくり

1 グリーンツーリズムの推進

2 地域資源を活かした農林業の振興

#### めざす方向(施策の目的)

緑豊かな農村地域において、その自然・文化・人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動が脚光を浴びる中、観光と農業の一体化により都市住民に自然や農業体験の場と機会を提供し、地域住民の生きがい対策や地域農業の振興を図る。

#### ■ これまでの取り組み

滞在型交流施設と連携した体験型施設の整備を実施。

#### ■ 現状

- ・交流拠点施設はあるが、グリーン・ツーリズムとして活用がされていない。
- ・農業体験や田舎暮らし体験が整備されていない。

#### ■ 市民の声

- ・山間部地域の離農に伴う休耕地や空き家の有効活用
- ・地域住民の生きがい対策

#### ■ 課題

- ・体験プログラムの整備
- ・滞在型農家(民宿等)の確保
- ・受け入れ農家の意識啓発

## ■ 施策の展開

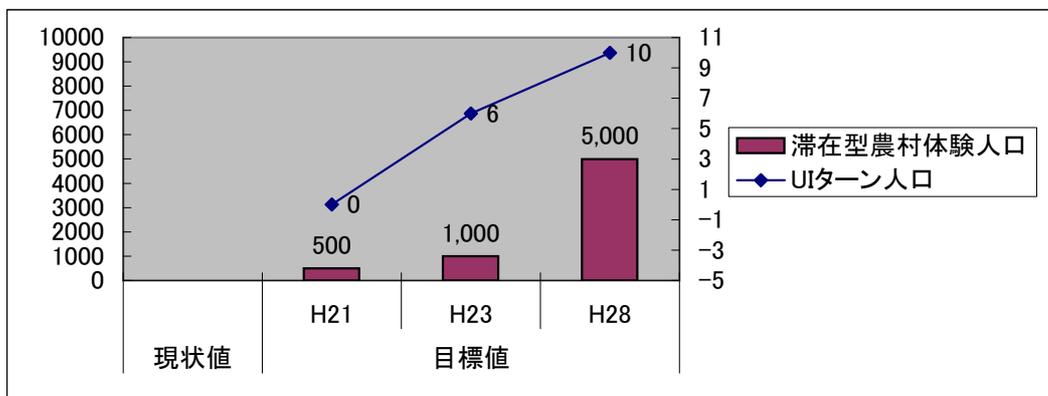
- ・休耕地や空き家を活用した滞在型の農村体験制度の創設
- ・就農者への支援及び地域間交流の促進によるUIターン(※1)の促進
- ・体験プログラムインストラクター等の育成

## 施策に対する目標

指標名	単位	現状値	目標値			指標の説明
			H21	H23	H28	
滞在型農村体験人口	人	-	500	1,000	5,000	農村交流人口
UIターン人口	人	-	-	6	10	地域の活性化状況

## ■ データ

○滞在型農村体験人口及びUIターン人口



※1 UIターンとは、自分のふるさとに戻る(Uターン)、都市出身者だが田舎に住みたい(Iターン)という人々のこと、あるいはその動きのこと。

第3節 活力と希望を生み、交流を育むまち

4 農村環境を地域間交流に活用し、活力と定住を生むまちづくり

1 グリーンツーリズムの推進

2 地域資源を活かした農林業の振興

めざす方向(施策の目的)

緑豊かな山林、田畑等の地域資源の活用で、農業・林業体験や畜産物の特産品化などを通じて、都市住民との交流を促進し、農林業の振興を図る。

■ これまでの取り組み

- ・黒毛和牛の繁殖事業の実施による、農家への安定供給。胎内黒豚、ジャージー乳などの畜産物加工による特産化
- ・作付け日本一をキャッチフレーズにした「チューリップフェスティバル」の開催
- ・土砂流失防止や水源かん養機能保全のための森林づくり

■ 現状

- ・県産和牛の評価向上に寄与している。
- ・直営特産品の消費は伸び悩んでいるものの、チューリップフェスティバルは、県内春のイベントとして定着している。
- ・治山対策並びに森林保育を適宜実施している。

■ 市民の声

- ・農業・林業体験ゾーンの充実
- ・担い手の育成に対する支援

■ 課題

- ・農業従事者の高齢化や後継者不足に対する担い手等経営体の確保
- ・中山間地域における遊休農地の増加解消対策
- ・林業の素材価格低迷による経済効果は期待できないため、森林資源を活かした観光との連携

## ■ 施策の展開

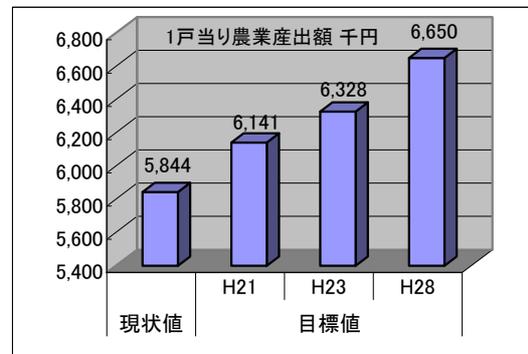
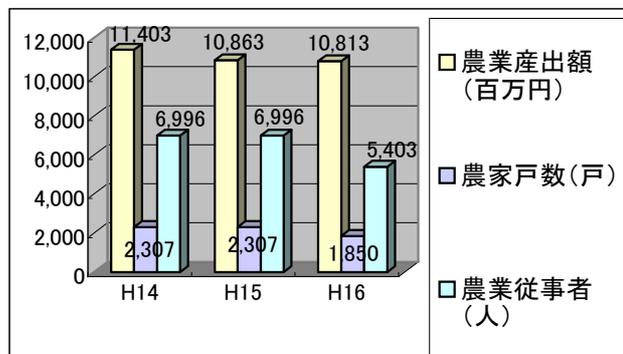
- ・農業・林業体験ゾーンの充実
- ・畜産物の特産化や担い手の育成に対する支援の実施
- ・地域の多様な食材を販売促進するための流通促進施設整備事業
- ・遊休農地の有効な活用

## 施策に対する目標

指標名	単位	現状値	目標値			指標の説明
			H21	H23	H28	
農業産出額	百万円	10,813	9,262	8,796	7,535	1戸当り年1.0%の伸び率
農家戸数	戸	1,850	1,508	1,390	1,133	農林業従事者の推移
農業従事者	人	5,403	4,269	3,885	3,218	

## ■ データ

### ○ 農業産出額の状況



	H14	H15	H16
農業産出額(百万円)	11,403	10,863	10,813
農家戸数(戸) (世界農林業センサスより)	2,307	2,307	1,850
農業従事者(人) (世界農林業センサスより)	6,996	6,996	5,403
1戸当り農業産出額 (百万円)	4.94	4.71	5.84

